

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	横須賀三浦地区農政事務所
76		
※記入不要		
<b>要望問題</b>	東京湾小型底びき網漁業の資源回復方策の提言	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】		
<p>近年の東京湾の小型底びき網漁業は、シャコ、マコガレイの不漁により非常に厳しい環境にある。特にシャコは横浜市漁協柴支所の小型底びき網漁業（54ヶ統）の主要漁種であり、シャコの不漁が続くと体力のない経営体から廃業していくことになってしまう。</p> <p>柴支所の漁業者は、シャコの資源に危機感を抱き昨年の12月から1ヶ月半に及ぶシャコの休漁を実施したが、漁業者が期待していたほどの効果は見られなかった。さらなる休漁などの漁獲規制を実施するにも漁業者に相当の痛みが伴うことが考えられ、科学的根拠に基づいた資源回復方策の提言が必要である。</p> <p>そこで、水産総合研究所に、シャコの資源回復に必要な休漁期間や漁獲制限などの措置を漁業者に提案していただきたい。</p>		
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内	
<b>研究対応区分</b>	①研究所対応 ②委託研究 ③共同研究 ④その他	
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業総合研究所（②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場） ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所（⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場） ⑨自然環境保全センター	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	水産総合研究所
部 署	資源環境部
<b>対応区分</b>	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
<b>試験研究課題名</b>	(①、②、④の場合) 複合的資源管理型促進対策事業
<b>対応の内容等</b>	
<p>シャコ資源の重要性、漁獲の状況等については当所でも十分承知しており、現象の把握、資源量減少の原因の究明等を研究しているところです。シャコ好漁期と現在を比べると、資源の構造に変化が生じており、これが資源量減少につながっていると考えられます。</p> <p>この認識をもとにシャコ資源回復についていくつかの対策を検討しているところであり、その結果について、できるだけ早急に提案したいと考えています。</p>	
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
<b>備考</b>	